

EU Indicators

欧州経済指標コメント：10月ユーロ圏消費者物価（速報）

発表日：2017年10月31日（火）

～弱いコア、出口に暗雲～

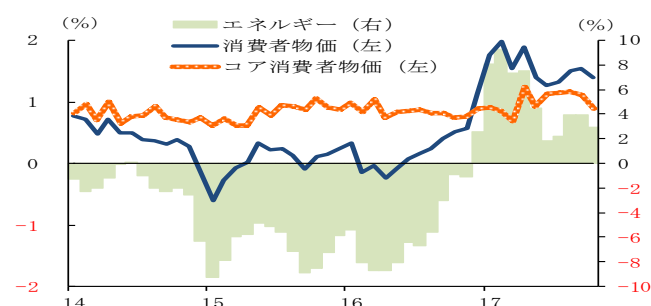
第一生命経済研究所 経済調査部

主席エコノミスト 田中 理

03-5221-4527

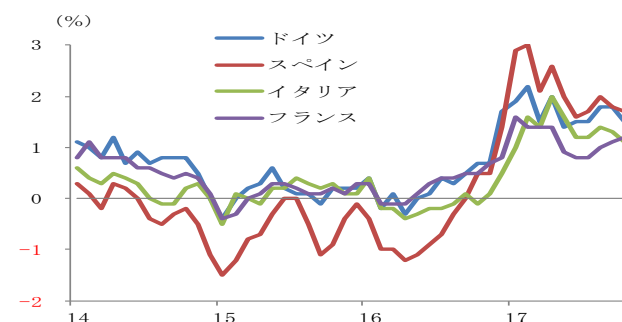
- 10月のユーロ圏の消費者物価の速報値は前年比+1.4%と前月の同+1.5%から上昇率が鈍化した。速報段階で入手可能な内訳は、食料・アルコール飲料・たばこ価格（前月：同+1.9%→今月：同+2.4%）の上昇率が加速した一方、エネルギー価格（同+3.9%→同+3.0%）とコア物価（同+1.1%→同+0.9%）が揃って上昇率が鈍化し、全体の計数を下押しした。
- 発表済みの国別計数（統一基準ベース）は、フランス（同+1.1%→同+1.2%）で上昇率が小幅加速した一方、ドイツ（同+1.8%→同+1.5%）、イタリア（同+1.3%→同+1.1%）、スペイン（同+1.8%→同+1.7%）で揃って上昇率が鈍化した。
- コア物価は7・8月に同+1.2%に加速した後、9月に同+1.1%、10月に同+0.9%と鈍化傾向が鮮明となっている。詳細な内訳は11月16日の確報値の結果を待たなければならないが、ドイツの州別計数からは、衣料品、パッケージ旅行、外食・宿泊費など、天候・サンプル要因で振れの大きい費目が下押しした模様。一過性の下振れも影響したとみられるが、基調的なインフレ率の弱さは気懸かりだ。
- 原油先物相場が上昇傾向にあるが、エネルギー価格は前年同月の裏が出ることから、今年12月から来年前半にかけて下振れしやすい。同日発表の9月のユーロ圏の失業率は8.9%と一段と低下。労働需給の改善を反映し、1人当たり雇用者報酬や賃上げ要求は高まる方向にある。だが、そのペースは引き続き緩やかなものにとどまり、今後は最近までのユーロ高進行による輸入物価の押し上げ圧力も働く。コア物価の上昇加速を見込むECBにとっては、しばらく逆風となりそうだ。

■ユーロ圏：消費者物価（前年比）



注：コア物価は食料・たばこ・アルコール・エネルギー除く
出所：Eurostat

■ユーロ圏：主要国の消費者物価（統一基準、前年比）



出所：Eurostat

■ユーロ圏の消費者物価（%）

	2016	2017		2017										
	4Q	1Q	2Q	3Q	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
消費者物価（前期比）	0.4	0.7	0.1	0.2	0.2	-0.1	0.2	-0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	
（前年比）	0.7	1.8	1.5	1.5	2.0	1.5	1.9	1.4	1.3	1.3	1.5	1.5	1.4	
コア消費者物価（前年比）	0.8	0.8	1.1	1.2	0.9	0.7	1.2	0.9	1.1	1.2	1.2	1.1	0.9	
食料/アルコール/たばこ（前年比）	0.8	2.0	1.5	1.6	2.5	1.8	1.5	1.5	1.4	1.4	1.4	1.4	1.9	2.4
食料（前年比）	0.5	2.1	1.3	0.0	2.7	1.7	1.3	1.4	1.2	1.1	1.2	1.2	1.8	—
アルコール（前年比）	0.9	0.6	0.6	0.0	0.6	0.9	0.3	0.9	0.6	0.8	0.7	0.6	—	
たばこ（前年比）	2.3	2.7	3.2	0.0	2.7	2.9	3.5	3.0	3.1	3.2	3.3	3.2	—	
エネルギー（前年比）	0.2	8.2	4.6	3.4	9.3	7.4	7.6	4.5	1.9	2.2	4.0	3.9	3.0	

注：消費者物価の前期比は季節調整後。コア消費者物価は食料・アルコール・たばこ・エネルギーを除く。出所：Eurostat

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。